



令和4年12月16日

国土交通省中部地方整備局
名古屋国道事務所

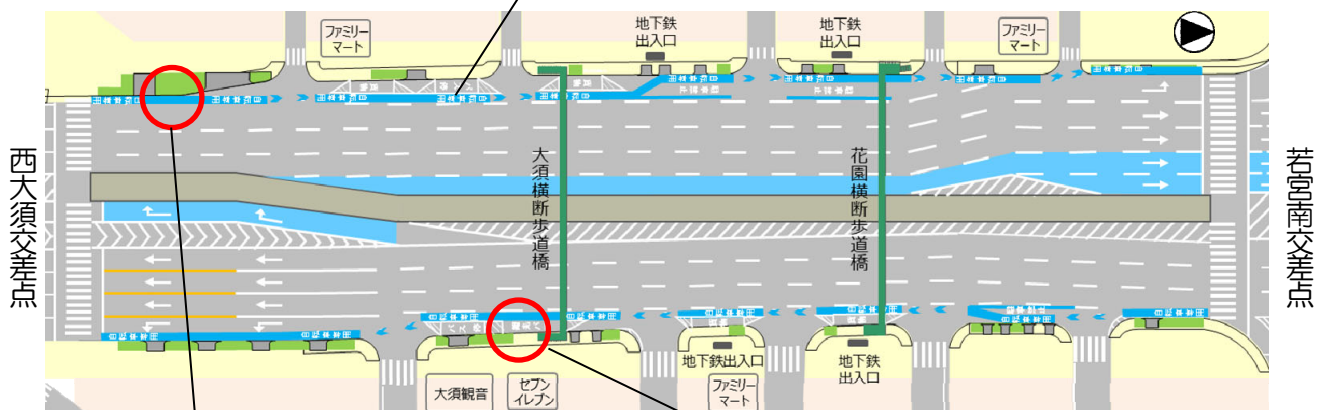
大須地区の自転車レーンが完成しました！ ～名古屋市内の自転車通行空間 整備を推進！～

このたび、国道19号大須地区（西大須～若宮南交差点）において、自転車レーン（自転車専用通行帯）が完成しましたので、お知らせします。

■名古屋国道事務所では、引き続き隣接する区間等で、道路空間の再編成を行い、自転車レーンの整備を進め、自転車の安全・安心で快適な通行空間の確保を進めます。（別紙参照）

■平面図（大須地区）

自転車レーンの整備



配布先	
中部地方整備局記者クラブ	
問い合わせ先	
国土交通省中部地方整備局	
名古屋国道事務所 副所長	おくで かつ 奥出 克 TEL：052-853-7320
事業対策官	たけうち あきひろ 竹内 秋広 mail：cbr-na-kouta@mlit.go.jp
〒467-0833 名古屋市瑞穂区鍵田町2丁目30番地	



名古屋国道事務所では、計画的に名古屋市内の自転車通行空間の整備を進めています。

国道19号及び国道22号において、自転車道や自転車レーンの整備により、名古屋市内に連続した自転車通行空間の確保を図っています。

今回完成

- ① **国道19号 大須地区(西大須～若宮南交差点) [0.5km]**
 - ・平成30年度より「大須地区安全な自転車利用に関する連絡会」にて対策を検討
 - ・令和2年度に矢羽根、仮設駐輪場による社会実験を実施
 - ・令和4年より名古屋市と連携し駐輪場を整備し、自転車レーンを整備
- ② **国道19号 松原地区(古渡町～西大須交差点) [0.7km]**
 - ・令和4年9月より工事を実施中。今年度内、完成予定
 - ・松原交差点のコンパクト化(交通安全対策)も併せて実施
- ③ **国道19号 正木地区(金山新橋南～古渡町交差点) [1.0km]**
 - ・12月より工事を実施中
 - ・金山駅北口交差点のコンパクト化(交通安全対策)も併せて実施

国道19号

- ④ **国道22号 名城地区(日銀前～幅下橋西交差点) [1.1km]**
 - ・車線を自転車レーンに転換した場合の交通状況や社会的影響を把握するため、今年度、社会実験を予定
 - ・社会実験の状況を踏まえ、来年度以降の自転車通行空間整備に向けて検討

国道22号

- ⑤ **自転車の適正な走行に関する広報の実施**
 - ・自転車の安全かつ適正な走行位置での利用・普及を図るための広報を展開予定



「大須地区安全な自転車利用に関する連絡会」での検討を経て社会実験を実施し、自転車レーンを整備しています。

●大須地区における課題

歩行者と自転車が錯綜する歩道



歩行者と自転車の錯綜・交錯が頻繁に生じている

違法駐輪による歩道幅員の未確保



歩道の有効幅員が狭く、歩行者・自転車の混雑が生じている

児童と自転車の交錯



安全な通学路が求められている

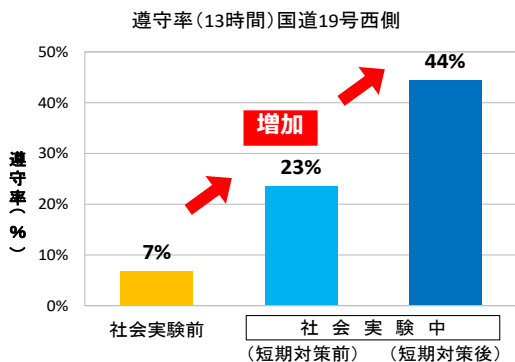
●整備の考え方

- ◆ 車線1車線分を自転車レーンに転換
- ◆ 観光バスや荷捌きのための貨物の駐車マスを設置
- ◆ 自転車駐車を整備(名古屋市)

社会実験(令和2年8月26日～)の結果

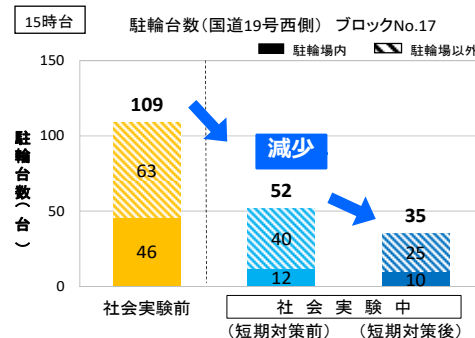
- 社会実験(矢羽根の設置)により、車道部を走行する自転車は増加
- 駐車自転車があふれていた大須横断歩道橋付近の駐車自転車は減少

■車道部を走る自転車の割合



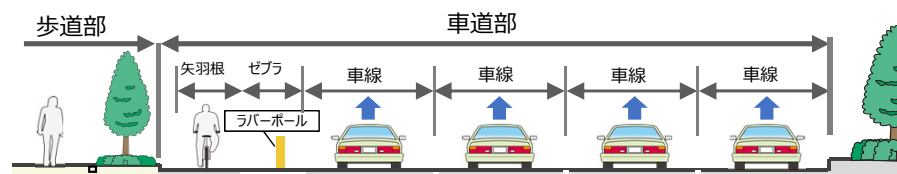
遵守率(13時間) = 自転車交通量(順走・車道通行) / 自転車交通量(順走) (13時間合計)

■西側(大須横断歩道橋付近)の駐車自転車の台数

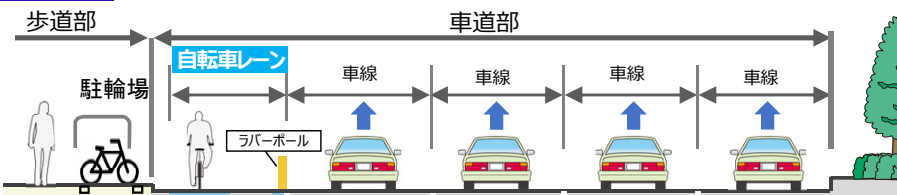


断面図(一般部)

整備前 (社会実験後)

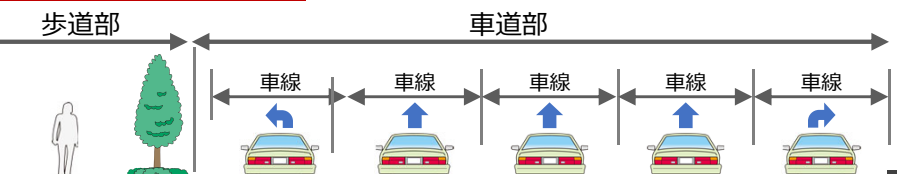


整備後

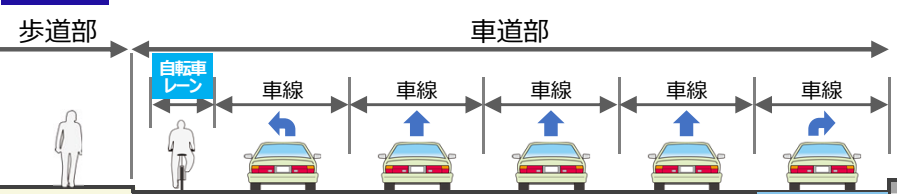


断面図(交差点部)

整備前 (社会実験後)



整備後



●大須地区の整備写真



縁石・側溝と自転車レーンの整備



バス停車場と自転車レーンの整備



駐輪場の整備



通行区分標識の整備

国道19号、金山新橋南～西大須交差点についても、自転車レーンの整備を進めます。

●整備の考え方

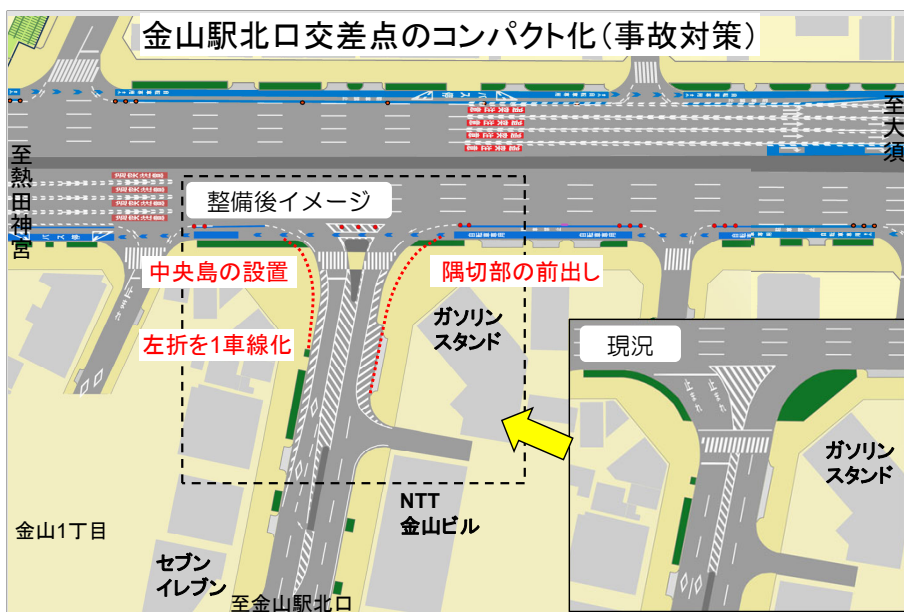
- ◆ 一般部については、車線1車線分を自転車レーンに転換
- ◆ 交差点部については、車線数を変えずに、幅員の調整等により自転車通行空間を確保
- ◆ 松原交差点、金山駅北口交差点のコンパクト化(交通安全対策を併せて実施

○古渡町～西大須交差点:

令和4年10月より工事着手
現在、歩道側の植栽、縁石、側溝の工事を実施中

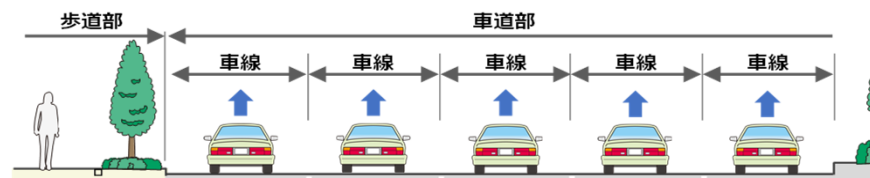
○金山新橋南～古渡町交差点:

令和4年12月より工事着手
現在、区画線の引替工事を実施中

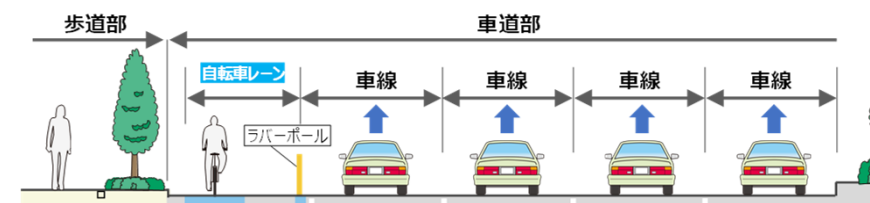


断面図(一般部)

整備前

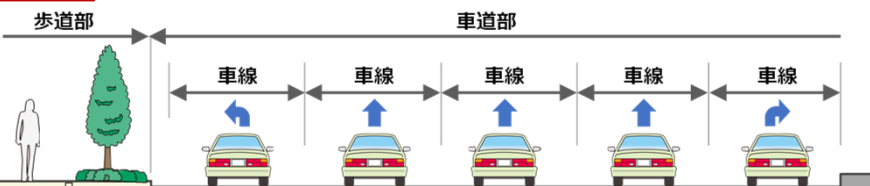


整備後



断面図(交差点部)

整備前



整備後



※車道の車線数を変えず、車道幅員及び歩道(植栽帯)を減少し自転車レーンを整備

第1車線削減による自転車通行空間の確保に向け、来年度、社会実験を予定しています。



○社会実験の概要

(目的)

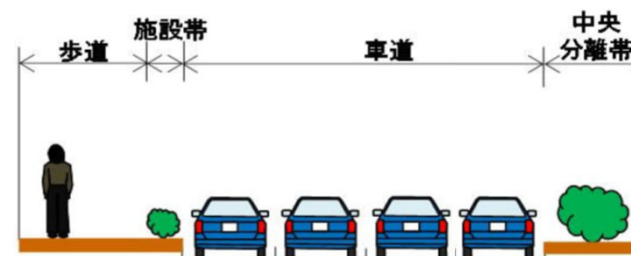
- ◆ 第1車線削減による、交通や沿道利用への影響を確認

(実施方法)

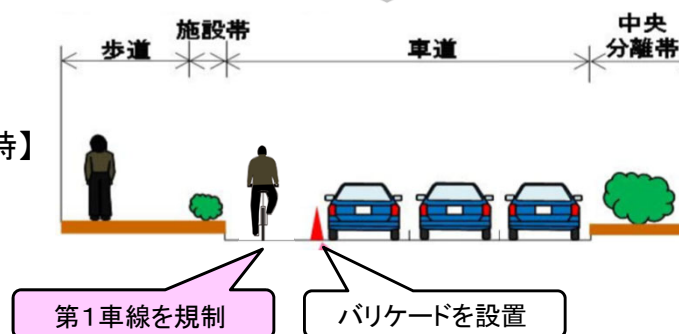
- ◆ 第1車線と第2車線の間に仮設物(バリケード)を設置
- ◆ 令和5年5月頃の社会実験に向け関係機関と調整後、地元説明を予定
※社会実験を踏まえ、本格運用の整備形態を検討します

○社会実験イメージ

【現況】



【社会実験時】



道路空間の中で自転車が安全に適正な場所を走行するように、自転車利用者、歩行者、自動車ドライバーそれぞれの意識向上を目的とした広報を実施します。



自転車と歩行者が歩道で錯綜している



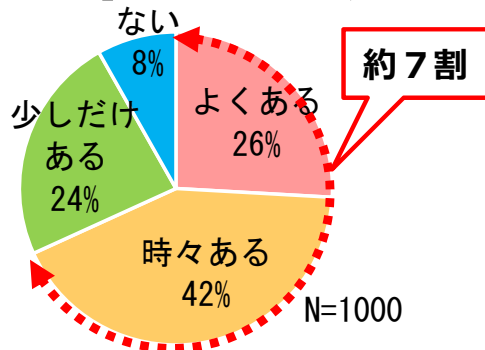
自転車通行空間を走行していない事例 (矢羽根を逆走)



自転車レーンに停車する車両 (宅配車両の停車)

○アンケート結果より(R4.2 名古屋国道事務所調査)

歩道を歩いている
「自転車を危ない」と感じたことがある

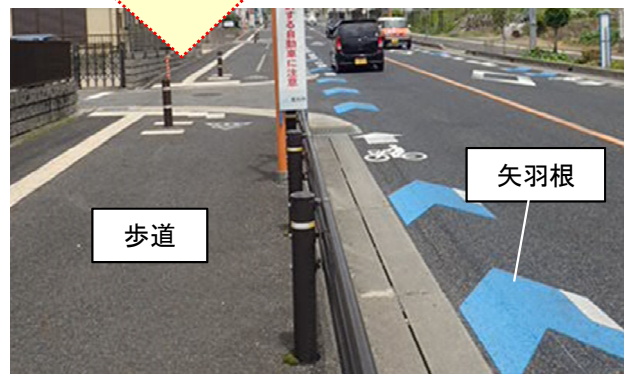


危ないと感じた内容

- ・歩行者の間を縫うように通行していった
- ・危険な速度で通り過ぎて行った
- ・ベルを鳴らされ、避けさせられた

自転車の走行位置について

矢羽根が整備された道路において、**88%**の方が「歩道を走行する」と回答



それぞれが思いやりを持って
道路を利用



意識向上のための広報を展開